

# 海をこえ、反戦・反核・軍空港<sup>拡張</sup>反対の連帯闘争を

## 日刊 勤労千葉

82.3.27  
No. 1003

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二九三五ノ六(公衆)四五二七二〇七

### 西独・フランクフルト空港の 拡張に反対して叩く仲間の代表が勤労千葉を訪問、交流。

去る3月19日、三里塚芝山連合空港反対同盟の招待で来日した西独・フランクフルト空港拡張反対運動の代表と仏・ラルザック軍事基地に反対する農民の代表は、3月21日広島反核20万人集会への参加をはじめ、全国各地の叩く人々・団体との交流を続けつつ、来る3月28日三里塚全国総決起集会への合流にむかっています。  
その忙しいさ中の3月25日、西独・フランクフルト空港西滑走路拡張に反対する市民行動(正名社)の代表4名が勤労千葉を訪れ、津田沼支部と勤労千葉本部でそれぞれ職場見学と交流会を行ない、連帯を深めました。

『お互いの経験を交流して、勤労千葉から学びたい』

勤労千葉本部役員、各支部役員、活動家が出迎える中、代表団4名は17時、勤労千葉会館に到着し、直ちに交流会に入りました。4名の代表団から次のような熱烈な挨拶がなされました。

#### ●マイク氏

皆さんと同席できて喜しく思っています。というのは、私達は労働者と農民の連帯を考へ続けてきたからです。労働連帯は大変重要と考えます。私達はあなた方の叩くも、私達の叩くも考えています。私達が勝利するとすれば、国際的連帯と農民の叩きの勝利を通してでしょう。団結を強固にする事を願って挨拶しました。

#### ●ジョージ氏

勤労千葉の叩きは農民に連帯する意味でも重要だと思っています。労働者階級と農民の連帯こそが勝利の道だと考えています。農民の叩いと、労働者の反合叩きが一つの叩きとして結合しなければなりません。フランクフルトでも労働者、市民、農民、学生が叩きに参加し空港に反対して叩いています。

#### ●マンフレッド氏

勤労千葉が主催した3月6日の全国労働者集会への招きに、対政府との関係で



フランクフルト空港はヨーロッパ2の大空港、NATO軍事基地。



ささやかな歓迎夕食・懇談会ののち、連帯共闘を誓って、よせ書きの赤い横布が送られた。写真は左より2人目=北原事務局長、廣川委員長、ディナーさん、マンフレッド氏、中野書記長、ジョージ氏、マイク氏の各氏。ぜひ欲しいと頼んでもらった「ナッパ服・スパン腕章」を着けて上がった4名。(3月25日、動力車会館にて)

参加できなかった事をお詫びします。私は勤労千葉のこの向の叩きの経験に学びたいと思っています。政治的叩きをどう叩くか学んでいきたい。三里塚空港反対の叩きの発展が、西ドイツフランクフルトの叩きの発展に通じます。勤労千葉の叩きが、いくつもの困難をたえず奥力であち破りながら進んできたというが、そういう中で前進がわれわれの叩きの勝利だと思えます。なぜなら、今、ドイツの労働組合運動は、かつてヒットラーたち(ファシスト)が加えてきたようなテロ攻撃なども直面しています。それに屈する事なく、勤労千葉の経

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!



験に学び叩く事が勝利の道だと思えます。更に緊密な団結をうち固めていきましょう。

### 軍事空老粉砕・労農連帯の叩くを通じて、世界の反戦・反核叩きの先頭を担おう

—— 奥川委員長が歓迎の挨拶 ——

続いて勤労千葉全員が自己紹介を行ない、代表して奥川委員長が「心から歓迎します。勤労千葉は労農連帯を掲げ今日まで叩ってきましたが、戦争を食い止める叩いては、皆さん方の叩いと目的は一致しており、更に国際的団結を強めていきたい」と挨拶しました。

勤労千葉教宣部制作になる「81.3ジェット叩きの記録」フィルムの上映に続き、代表団が持参した「フランクフルト空老反対叩きの記録」フィルムが上映されました。遅れてかけつけた、デイナーさん

も加わり、和室での歓迎会に移りました。ビールで乾杯し、懐かしい「はし」を使っておくし、料理に舌つづみさうしました。

「フランクフルトの叩き」と「81.3ジェット叩き」のお互いの叩きの記録8MMフィルムは、国籍言葉をこえて、熱い友情と連帯のきづなをより一層つよめた。(勤労車会館にて)

共に叩く労働者の連帯感、言葉の違いを乗り越え、固い握手によって、お互いの心を通じ合いました。

一行4名は、組合員から贈られた勤労千葉のバッチ、ワッパン、晩章のついた作業服「コナツパック」を着て、握手と拍手に送られ、3.28三里塚での再会を約して帰路につきました。

### 津田沼支部を訪問交流

#### 生き生きとした職場の姿に感銘を示す

これに先立ち、一行4名は津田沼支部を訪問し、職場見学と交流会を行ないました。

今日、西独をはじめとして全ヨーロッパで、レーガンの批発的・好戦的核強化・増配備・軍事基地・軍事空老の拡張等々の攻撃が全面的に激化している。これに対し、全ヨーロッパでは、20万人〜30万人という大規模な反戦・反核・豊地死守・軍事空老反対の激烈な反対叩きが始まっている。それは今日、東欧ポーランド労働者の叩きや、中東での叩き、南朝鮮、韓国人民の不屈の叩き、中南米の人民解放叩き、そして何よりも叩く日本の民衆(三里塚農民の姿に代表される)としっかりと結合、連帯して力強く発展している。

ヨーロッパ大陸で最大の規模をもつ西独フランクフルト空老は、またNATO軍の核をも含んだ最重要の軍事基地であり、政府支配者階級は永年の根強い反対運動を軍隊と動隊の力でおしつけて西独を踏踏強行のため

の森林強奪、代表団のりおしてきた、昨年のドイツのみならず



仕事のあい間、作業服の労働者と生きた交流。東洋一の電車区職場をガツリと握り、81.3全線ストうちぬいた津田沼の国鉄労働者の生き生きとした表情、言葉に感銘。(津田沼電区 講習室での交流会) 労働者が堂々と職場を制している姿を見て、「スバラシイ」を連発。(職場見学)

ヨーロッパ各地から数百万、数十万の人たちが結集し、森の中に団結小屋をつくり、ガンゴウを築り、共同のシンボル、大衆的東カ叩きをくり叩いており、「ヨーロッパのナリタ叩き」と呼ばれている。

今日、全世界を驚かせている軍備強化・核兵器増強の攻撃は決して黙殺しえないほどの危険をはらんでいます。日本、西独の労働者人民も同質の攻撃にさらされ、戦争にかりたてられ、圧殺されようとしているといえます。

今回のフランクフルトで叩くという仲間との交流で、その事ははっきり確認できました。お互いの叩きの勝利、各々の支那者産をうちおせ、3.28三里塚と、5.23全世界、反戦・反核・反基地大叩きを誓うことになりました。